

数学

京都大学[理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

1は独立小問が7年ぶりに復活した。誘導のための小問はない。**4**、**5**は文系と共通

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

証明問題がなかった。常用対数表が与えられた。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1 問1 問2	三角関数 積分法	数学II 数学III	2倍角、3倍角の公式、有理数と無理数 定積分の計算 (部分積分法、置換積分法)	やや易 やや易
2	整数	数学A	偶奇に着目した素数のしぼりこみ	標準
3	積分法	数学III	座標を考えて面積を求める	やや難
4	確率・数列	数学A 数学B	排反な事象に分けて数列の和を求める	やや難
5	微分法	数学II	球面に内接する正四角錐の体積	標準
6	複素数平面	数学III	ド・モアブルの定理、常用対数	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

誘導や解法のヒントを教えてくれる小問がないので、普段から誘導に頼らず解法を考える練習をしておこう。また、問題の意味や構造を正しく把握し、論理的で的確な解答を書く練習をして、論証力を養っておきたい。